



ほけんだよい

～すくすくげんき～



視力検査

幼児クラスを対象に視力検査をおこないます。

🍄らいおん組・・・10月9日(火)
🍄とら組・・・10月10日(水)
🍄ねこ組・・・10月11日(木)
視力検査の結果はA、B、C、D段階でお知らせします。
A⇒視力1.0以上 B⇒視力0.9-0.7
C⇒視力0.6-0.3 D⇒視力0.3未満
園でおこなっている視力検査は天候や疲れ具合、集中力に左右されるためあくまでも目安としてお考え下さい。

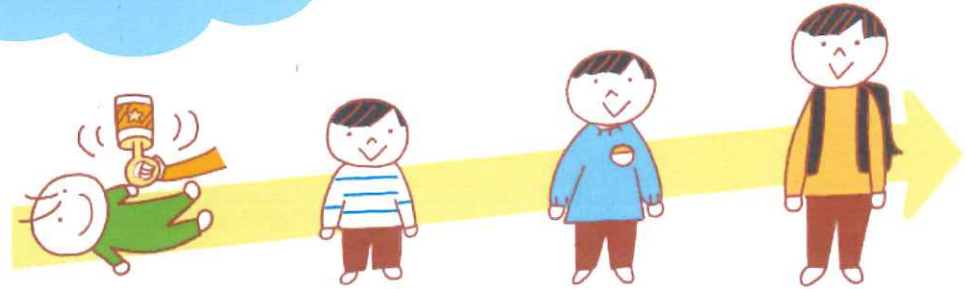
更新になります！！

乳児医療証が10月1日に更新になります。健康保険証については新しい乳児医療証と合わせて両方コピーをし、配布した用紙に貼付をしていただき、電話番号の記入もお願い致します。前回お預かりした保険証のコピーはこちらでシュレッダーにかけさせていただきますのでご了承ください。よろしくお願い致します！



10月10日は目の愛護デー

子どもの目は6・7歳になるまで成長し続けます



生後1～4ヶ月

ものが見える

生後1・2カ月は動くものがわかる程度、3・4カ月で見えるように。

3歳

平均視力が約0.8に*

発育と共に目も成長。平均視力は1歳で約0.3、2歳で約0.6。

4～6歳

視力が1.0以上に

視力1.0以上：4歳で75%、5歳で85%、6歳でほぼ100%。

6・7歳

目の機能が完成

7歳以降、成長期に眼球が長くなり、近視が進む場合があります。

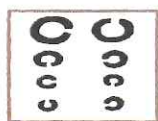
(参天製薬 hp より引用：<http://www.santen.co.jp/ja/healthcare/eye/eyecare/child/>)

子どもの目は、ものを見ることを繰り返して発達します。発達をする過程で何らかの問題が生じ、十分発達することができなければ視力が伸びません。**3歳は目の機能の発達を知る大切な時期です。目の異常を早期発見・早期治療が行えるために、市の3歳児健診(眼科)を受けましょう！**

子どもだからこそ眼鏡を



10月10日は目の愛護デーです。両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成するといわれています。その後視力が低下するのは幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。外の景色をたくさんを見せ、視力を育てていきたいですね。



「子どもなのに眼鏡をかけるなんてかわいそう」という声を時折聞きます。でも医師から眼鏡を処方されたら必ずかけさせてあげてください。特に弱視の治療は小さいうちしかできません。視力の成長が止まってからでは手遅れの場合が多いそうです。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、何か気になる症状はないか、大人が普段から気にかけて見るようにしたいですね。

健診のお知らせ

全園児健診が10月25日(木)(12時頃～)にあります。当日は可能な限り出席をお願い致します。何かご質問や気になることがある方は看護師もしくは担任にお知らせください。



9月の健康状況

- ★溶連菌感染症・・・7名
- ★突発性発疹・・・1名
- ★りんご病・・・6名
- ★とびひ・・・1名

※10月に入るとインフルエンザワクチン接種の予約ができる病院が多いのでかかりつけ医に相談してみましょう！

こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近づいて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めてみる
- ・見る時に首を曲げたり頭を傾けたりする。
- ・上目遣いにもものを見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている。

⇒ このような症状が見られると斜視や弱視の可能性がありますが、まずは眼科を受診するようにしましょう。

メディア機器とのつき合い

親も子どももメディア機器接触時間の、コントロールが大事です。親子の会話や体験を共有する時間が奪われてしまいます。



ムズかる赤ちゃんに、子育てアプリの画面で応えることは、赤ちゃんの育ちをゆがめる可能性があります。



このような場面はありませんか？

○視力の発達に悪影響が...

乳幼児期は視力が発達する重要な時期です。テレビやDVD、特にスマホ、タブレットなどの小さな平面画面を見る時間が長いと視力の発達を妨げます。日本の子どもたちの視力は、テレビやゲーム機の普及のあと急速に悪化しています。家の中にばかりいないで外で自然と触れ合いましょう。